

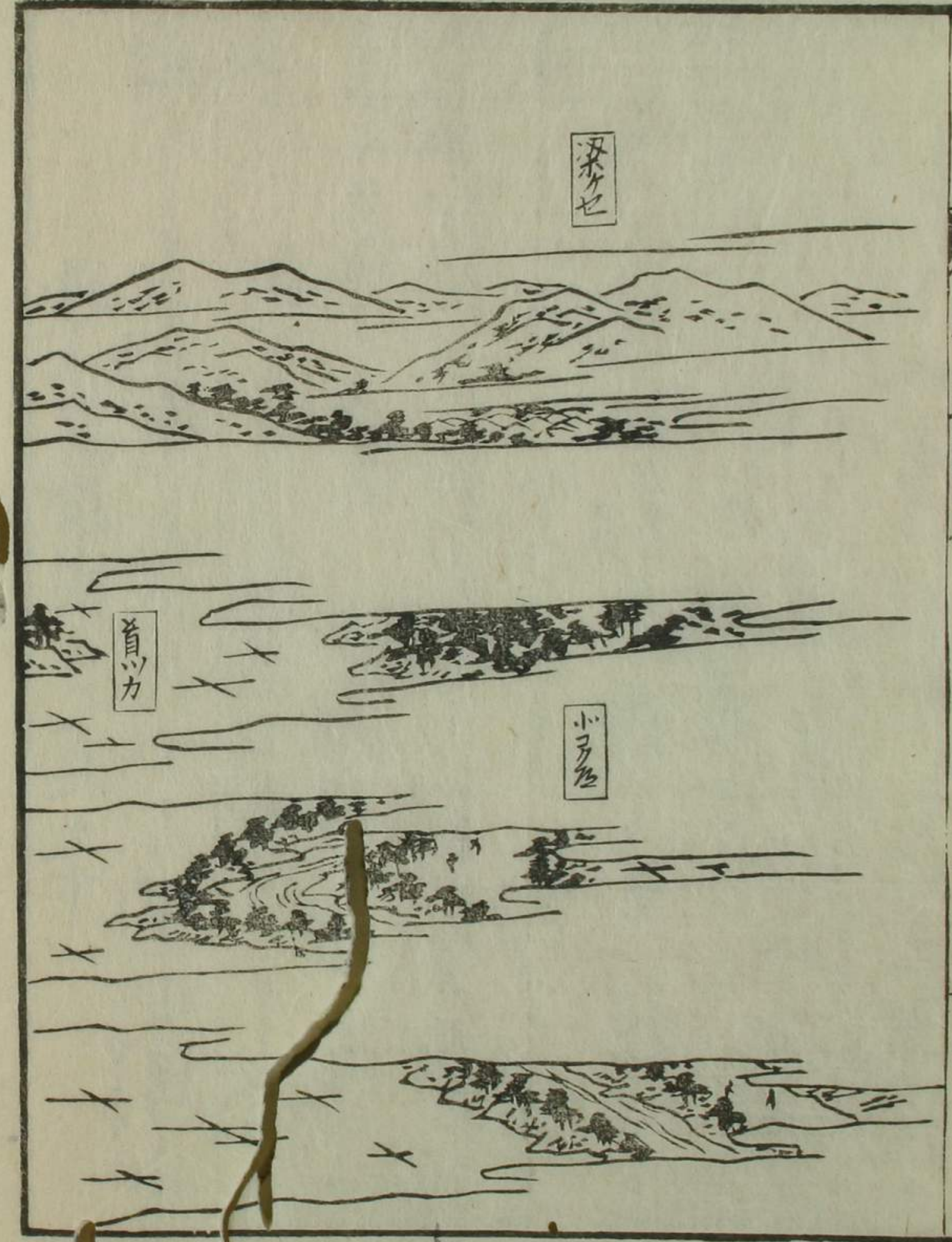
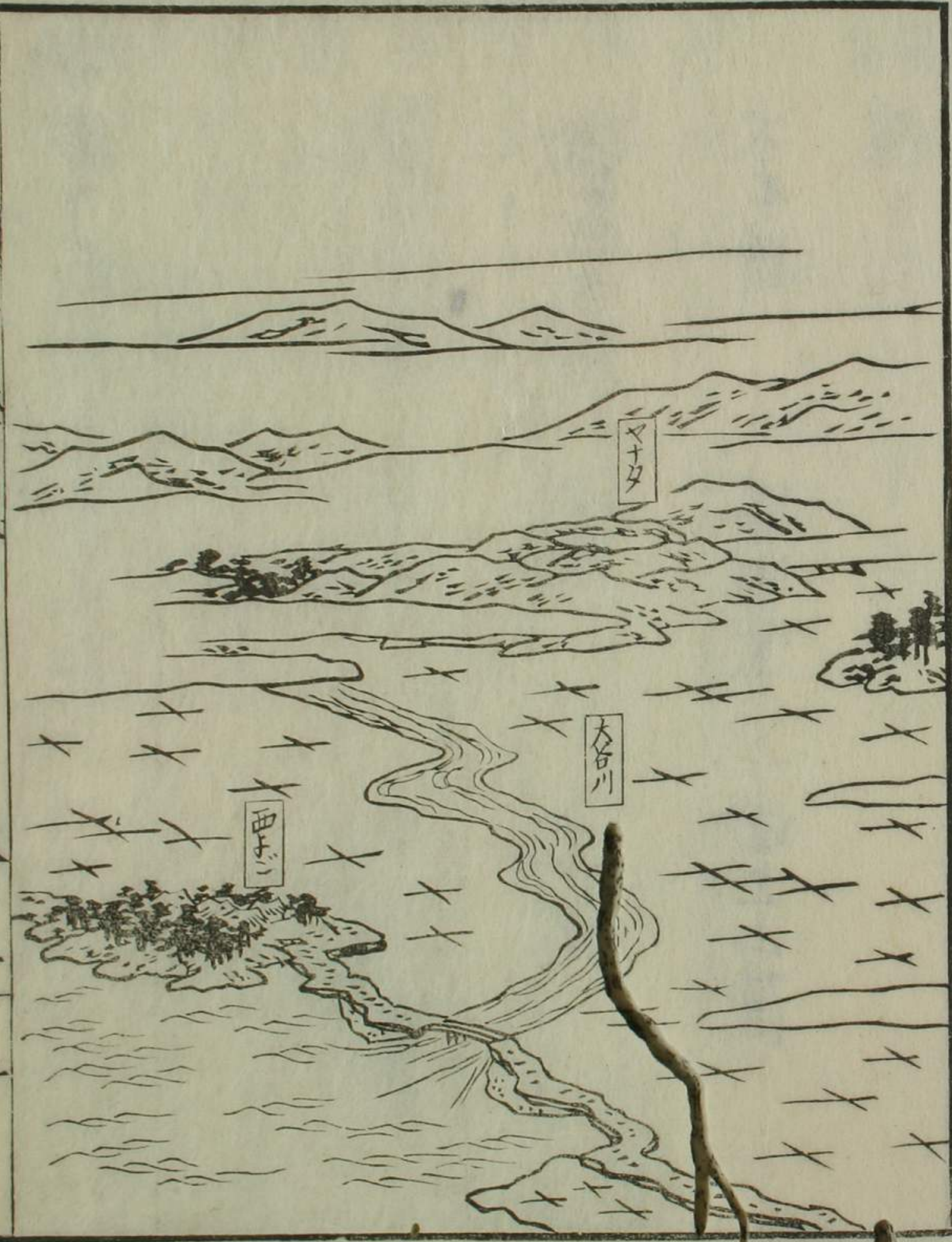
門
凡
3788
號
卷
3

賤ヶ嶽攻圖之三左之下



遊あそびおして家いえあへてあわれへいへ一いち茶田ちやでん道みち作つくら
勝かつ家かが二ふた我われのとき防ぼう敵てき計けいけと密ひそかたたらら一いち茶田ちやでん道みち作つくら
かゝるかゝる事ことは伴たがひよよををおしおし彼かのの殺ころにに斬きすすのの身みを
徳とく軍ぐんと集あつ計けい儀ぎとめめぐぐ一いち忽たちにに軍ぐん馬ばと御ご
練ま一いち若わ狭さ沙さへ海うみ上かみと越こへへ一いち嘉か治じにに礼らい入いせせ
とせとせははしし秀しゆをを押おしし入いりり勢せい一いち勢せいををめめぐぐ一いち
くくあありりははししるるのの間ま道みちをを行いくく事ことののらら
ふふににししてて足あしと地ち小こつつらら事ことふふはは結むすばばれれ小こ
つつらら事ことふふはは結むすばばれれ小こつつらら事ことふふはは結むすばばれれ小こ

大正
25.12.16
陸軍省
蔵



北湖 賤ヶ嶽圖會日巻之三

目録

梁ヶ嶽陳

越川

北國海道

館屋市助

油木

川合

木本驛

地藏堂

田上山陳

北湖 賤ヶ嶽圖會日巻之三

梁ヶ嶽陳

梁ヶ嶽の林原を以ての位置所此の
 陳門より一里を分ち此方此方
 なる一山の傍に曲輪あり是れ
 ありありと見ゆ陳場はあつた
 所にしてこゝに小陣ありは
 勝原我々別軍書小長等と八
 我々も一我々も八陣ありは
 我々も一我々も八陣ありは

廿一 俸とありわしも北海と流し
 て舟後但るれ多(多)一帝(帝)と新(新)ま
 いも時(時)は(は)六(六)臨(臨)寺(寺)と願(願)勅(勅)令(令)と
 御(御)采(采)討(討)と(と)以(以)為(為)す(す)に(に)鐵(鐵)田(田)家(家)再(再)其(其)の(の)身(身)不
 して忠(忠)也(也)亦(亦)系(系)宣(宣)命(命)時(時)ハ(ハ)又(又)む(む)の(の)ふ
 御(御)采(采)ハ(ハ)朝(朝)歌(歌)う(う)り(り)誰(誰)う(う)法(法)お(お)も(も)疑(疑)う(う)ん(ん)後(後)侯(侯)
 野(野)付(付)志(志)別(別)と(と)あり(り)そ(そ)わ(わ)ん(ん)後(後)ハ(ハ)後(後)大(大)和(和)
 河(河)内(内)伊(伊)賀(賀)紀(紀)の(の)路(路)の(の)勢(勢)と(と)集(集)て(て)未(未)志(志)者(者)と(と)討(討)
 べし(し)も(も)時(時)ハ(ハ)幸(幸)海(海)の(の)越(越)お(お)私(私)入(入)世(世)に(に)政(政)を(を)め(め)も
 御(御)方(方)途(途)を(を)う(う)の(の)め(め)べ(べ)し(し)食(食)利(利)と(と)して(して)鐵(鐵)田(田)家(家)

舟(舟)其(其)の(の)忠(忠)臣(臣)に(に)あ(あ)る(る)べ(べ)し(し)と(と)あ(あ)り(り)及(及)け(け)ん(ん)れ(れ)初(初)め(め)
 付(付)て(て)未(未)志(志)者(者)の(の)あ(あ)ら(ら)し(し)及(及)死(死)志(志)者(者)と(と)を(を)討(討)た(た)り(り)
 終(終)と(と)す(す)ゆ(ゆ)り(り)家(家)を(を)治(治)め(め)る(る)所(所)を(を)治(治)め(め)る(る)所(所)に(に)
 誰(誰)後(後)に(に)ま(ま)だ(だ)自(自)濟(濟)に(に)難(難)を(を)と(と)り(り)人(人)を(を)治(治)め(め)る(る)所(所)に(に)
 わ(わ)が(が)間(間)と(と)述(述)色(色)か(か)く(く)業(業)を(を)治(治)め(め)る(る)所(所)に(に)治(治)め(め)る(る)所(所)に(に)
 利(利)を(を)得(得)て(て)ハ(ハ)述(述)色(色)の(の)と(と)し(し)て(て)終(終)つ(つ)ま(ま)か(か)の(の)人(人)に(に)
 子(子)も(も)使(使)わ(わ)れ(れ)ん(ん)ら(ら)

越川

新(新)の(の)あ(あ)り(り)し(し)る(る)を(を)流(流)せ(せ)お(お)か(か)小(小)川(川)に(に)て(て)燈(燈)火(火)三(三)尺(尺)
 と(と)し(し)て(て)御(御)方(方)途(途)と(と)地(地)に(に)お(お)か(か)す(す)所(所)に(に)の(の)境(境)を(を)り(り)流(流)せ(せ)る(る)



坂口邑の南よ今も湖の下流と傳ふに湖は
あつ川中の佳景ありの矣おれ浦八河合の系に述

北國海道

中仙道実原の駅分りて水必海道と成
実の藤川ありと長きも木の中おと哉く
こよよりり佳景は系也北哉かえ流おの徳彦
そ家土おれいさくひら農夫高家の佳景
まがし新仰まうくおぶを東海乃空津の
やぶ中仙乃りて唐人海乃と云は狼長
いふとあり木のむあを別るよよりり佳景

船もみゆり船奉朝諸彦此冠ら官系は
后高少の母も年々東都に船んを衆
家の佳景ありハ御縁のそ彦等と云は流
よ朝し流のそ外彦家官信流のあは
あは系都は佳景すまは日毎に歳英と云
事し流ふ知かりし思東にれ旭長よつやと遠と
天と衛護し流い四ツの流静ありハ流を中
かゝるやこの海道の佳景もまわしりり
も毎歳嘉月のおと又その月れすあるも
水かよりり佳景あり老若男女歳子歳万とり

車と多氣一戦の比の軍勢満くするにも良
 お似らうちしりすききみる京師に登
 まし海を老人かり路次一戦の世にも捲り
 つらぬ中若うちふしてさるく海の本質
 成りつては可憐も伴はる食のこころ春流
 包と履方よつまきとある勝ゆえ女姥もあは
 りあも娘よれくふかりて急の切みあは
 りあん中らんも小念珠とつてまはるは佛を
 このふ十あがりうらうらうの女の聲おの言
 さく又あがり二九の娘もひしうそもいうあまは

いとあひひすす小信よあやとありあり
 るあ糸師あやあや佛をたれ祖師舎
 と名もあ場よつまきばりの流の包と解
 白金とつてまきまきこの家育れたるあ
 近江屋から車やあはれ伊佐とつてまき
 遠思深祖の伊佐の流るまきあまづ海に
 余宗のやうちりああまあまはるふ
 ぬと同宗の徒々清盤と昂と收び端
 うさく茶と茶と振舞

飯屋市助
 あのワ
 市助



Vertical text on the right margin of the right page, likely a page number or chapter title.

分量かくよの遊船の入用ハ教ふ金かき一
 船バおそれぬの船せんと以入用を價取事船年
 かるべし船家とよハ往り宝貨と貴一も
 事とせんと屋ものありしつふまやがし金子
 百とありて事あるつくと人法と同解は
 ちとらうくつふまに船ありく事とえら
 うとつふまは釋曰わきこみの小事にわらト使
 積天地自然の利解て法取と船一船
 悪しせん乃大志あるばこそ船取えらし
 わら孔是小事あるばは船木此船衣と引ハ

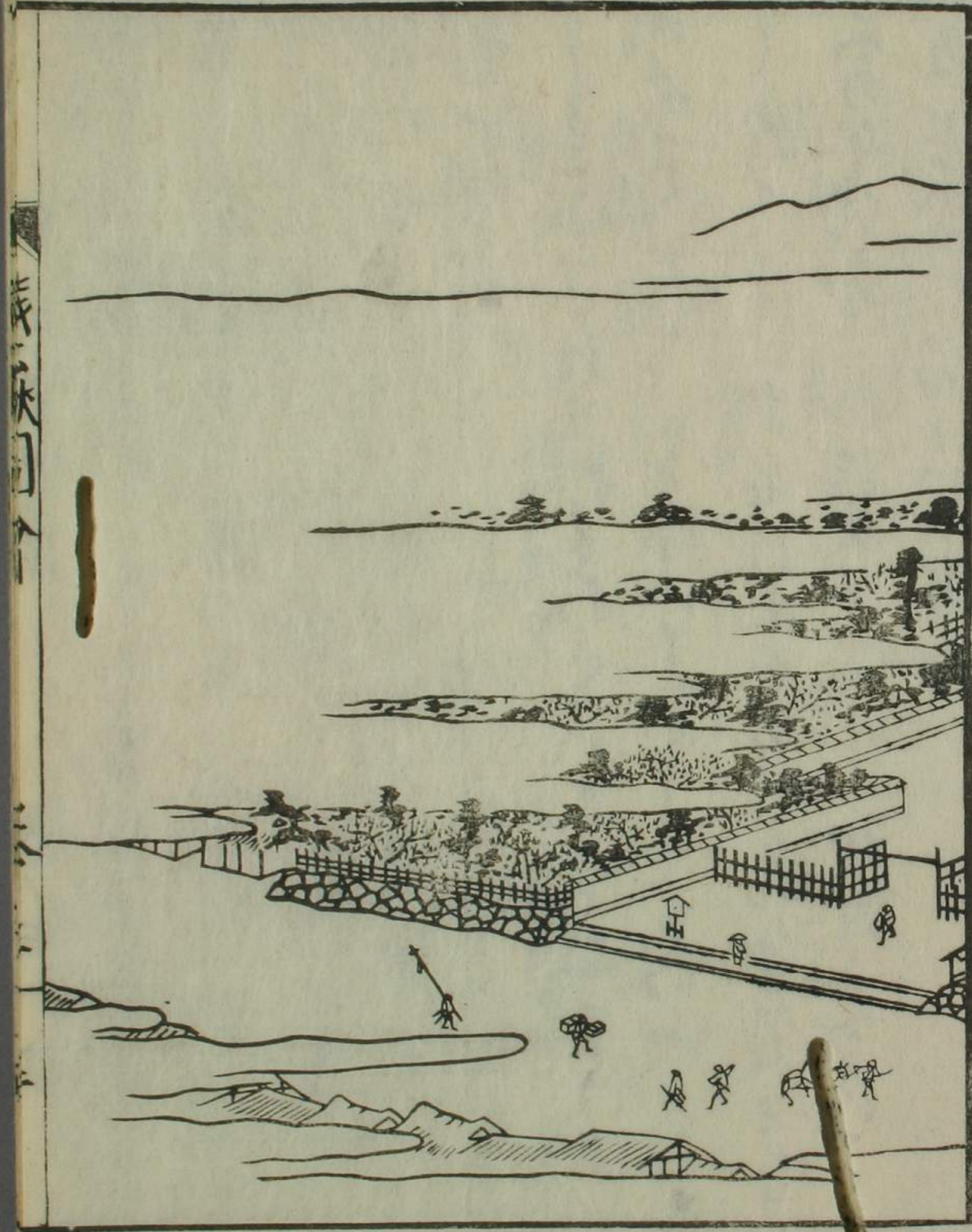
四海の益とれば是とまらく

本ノ本驛

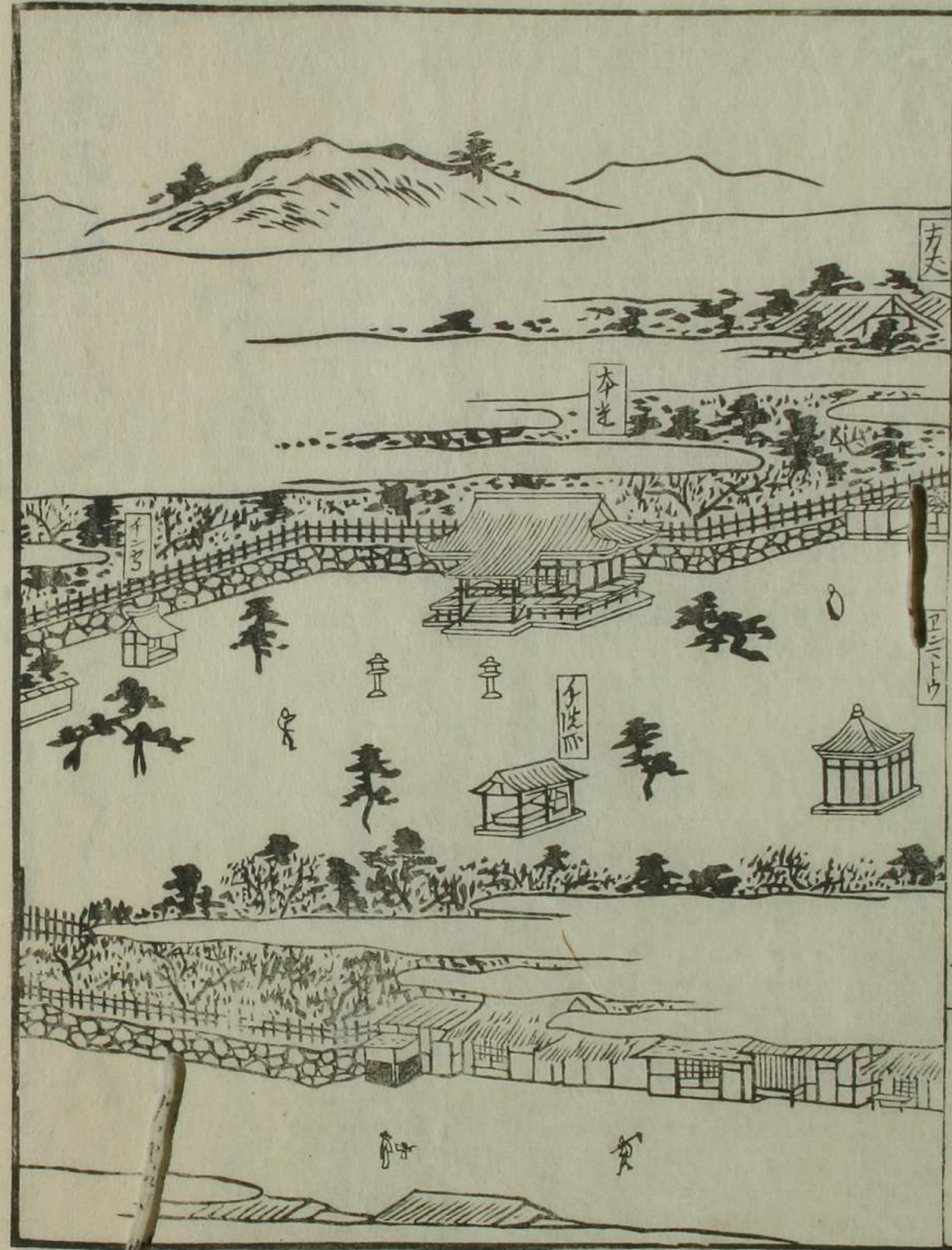
け地ハ船長をぬよはく近郷乃農夫未
 しま来て法ととらちよのたふ高家船
 船と船井おそれ市場村は市小おとらト
 地と船と南所ハ地と船堂あり是より
 起る故ハ此の条にん也

本ノ本地藏堂

都の海列島の地はよひくは是は



水天門



方丈

本堂

千法

卷八三

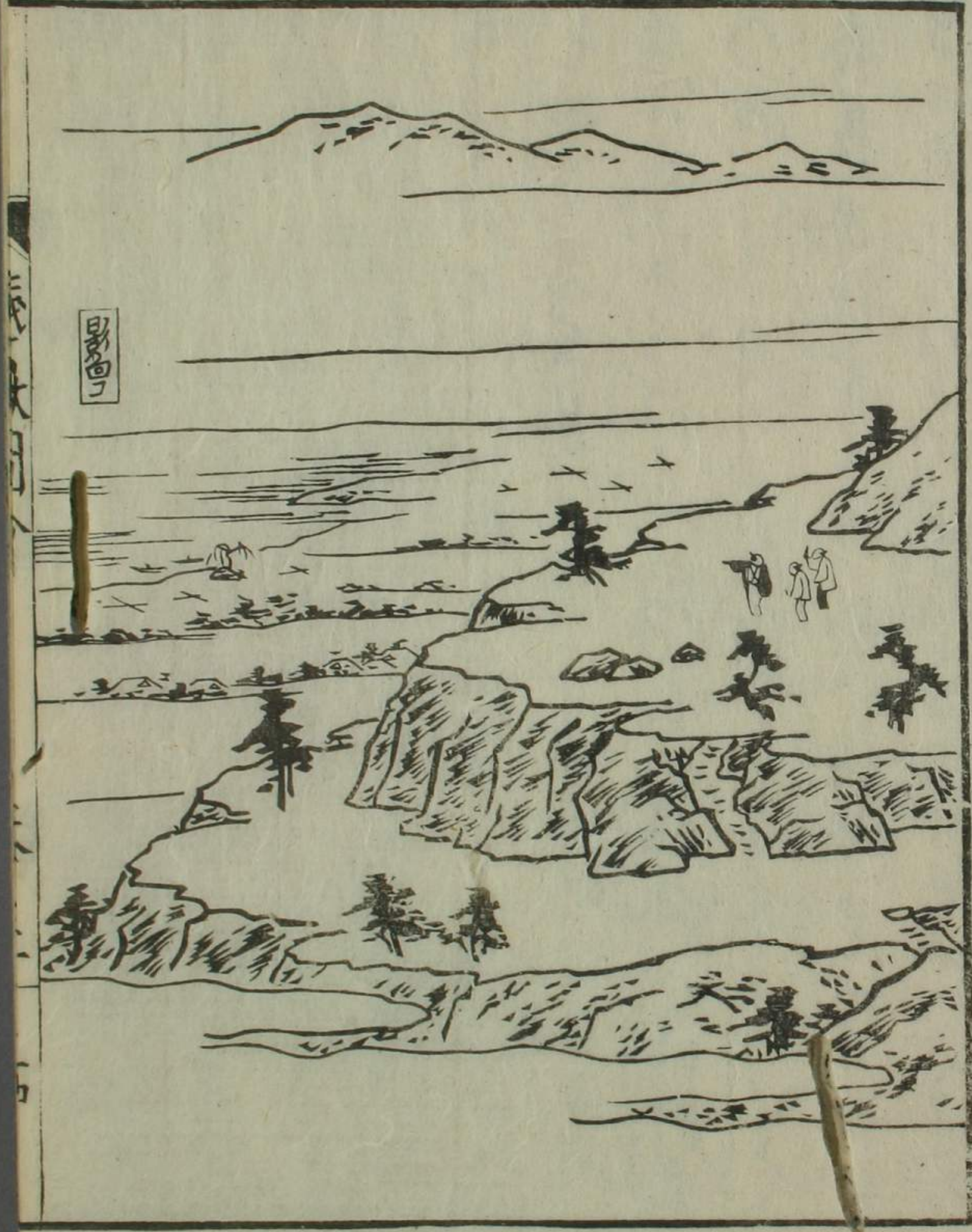
十一

工木なりは家も是の事なりて夜後
 ありわが像とつ家とありバ勢列 冥の地小
 ころべし 風入折の楠りりも指とをりて
 國利せし 冥の地花ありその草あり
 是と伐多判べしとや佛六里ひと小云てと家
 うしこふりれば判まらば本有故告て折
 口今一丈と切りその像のまおしとをぬふは判
 して終てうにおおに木下の地花ありばさか
 本の女地花と稱はまかつしと地花とあり
 是と本の下名といふも家

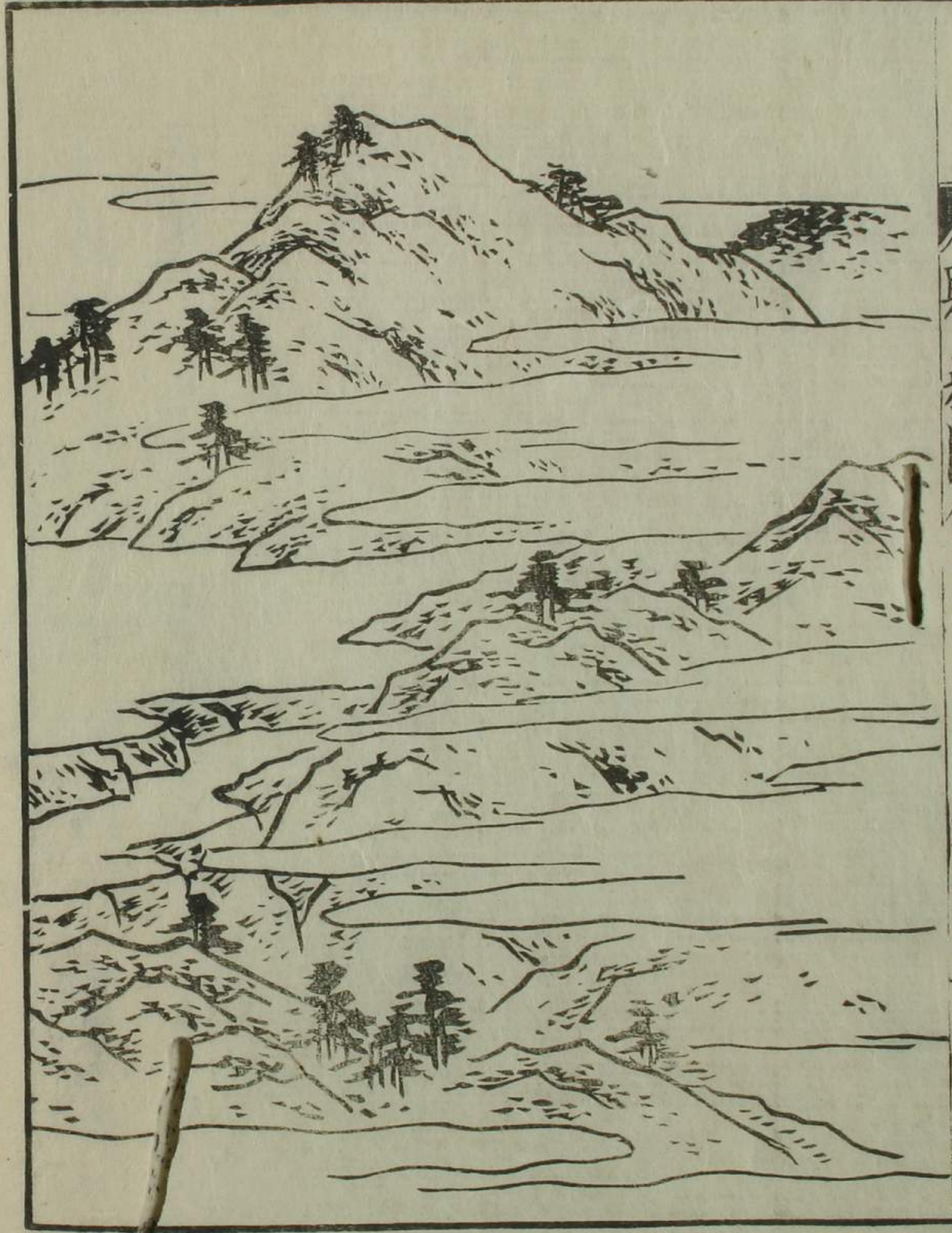
説曰南都東大寺中 新松院公堂大佛殿
 再建れとめ法由勅進のときこころ
 するその像の中此を長木矣後此に像り
 開眼させよとけりまよふよも名も
 象りしはや使うけがひ法めとく 冥眼せしき
 一より一は石の流あるべし 冥の地花と称
 大和法師の冥眼せしせらましと家よりけり
 付て云しありんり

田上山陳

推は秀長陳しすのありし七坊あり一里あり



目録



財多橋圖會

卷八三

大山乃千丁去る秀長ハ筑列の資少て後大和納
 玄秀長卿と云やある仁義の人おして篤矣乃
 君さきとも先君ハ大和者田上に陸せしめし
 筑列の到るあきひありある中川侯乃戦死
 せしむれ時一命と捨ても加増カ—中川侯の死小
 元おししむるにありしやけしめし中川
 侯ハ臣小ありはれん織田家の嫡孫之法師君
 乃戦に—君の—先法せしむる事ありし
 秀長高侯ありはれしめしわが陸
 ちにあつたたとく討死も助けあへばさるハ

あしとや—山右近ガ連也小田—とせし
 る—勇あき事ありしやけしめし田上も
 とさハ平城各代とつて場所ありしは教に—
 元おししむるにありしやけしめし中川
 侯ハ臣小ありはれん織田家の嫡孫之法師君
 乃戦に—君の—先法せしむる事ありし
 秀長高侯ありはれしめしわが陸
 ちにあつたたとく討死も助けあへばさるハ

伴^{とも}すぶがや^{あぶ}ー^ーこの^み遊^{あそ}ハ^あ未^ま長^{なが}此^{こゝ}伴^{とも}の^ま
 かの^あ陳^{ちん}取^{しよ}を^とま^まと^とま^ま也^{なり}も^もあ^あの^の陳^{ちん}所^{しよ}と^とい^い
 君^{きみ}の^のま^まし^して^てま^ま取^{しよ}と^とま^まあ^あし^し右^{みぎ}近^{ちか}が^が陳^{ちん}か^から^らへ^へ
 十^{じゆ}丁^{てい}計^{けい}あり^りあ^あれ^れ也^{なり}その^{その}陳^{ちん}乃^{すなは}下^{した}系^{けい}派^{はい}え^える^る
 也^{なり}

湖
 賤ヶ嶽圖會卷之三

